

議会報告会実施報告書

開催日時	平成25年11月16日 土曜日 19:00~20:30
開催会場	平牧公民館
班長	(正) 山田 喜弘・(副) 可児 慶志
司会者	川合 敏己
報告者	中村 悟 ・ 山根 一男
記録者	伊藤 壽
参加者数	37名
実施内容	・平成24年度決算審査報告および質疑 ・市内公共交通についての説明および意見交換
主な意見 提言等	<p>第1部『平成24年度決算審査報告』 質問：歳出の予算との比較で31億円少ない理由は何か。 回答：主な理由は、入札差金、不用額、翌年度繰越事業等によるもの。</p> <p>第2部『市内公共交通について』 質疑等なし</p> <p>その他 意見：可児市の指定金融機関であり、県の指定金でもあった十六銀行は、協調融資で主幹事銀行の情報開示義務を認め、損害賠償を命じられた。信用を大切にすべきところがコンプライアンスを軽んじている。可児市は、市民の税金を預け、予算の執行に関わってくるので、よく吟味し、可児市にふさわしいかどうかを検討して頂きたい。 回答：議会として調査を行う。</p> <p>質問：図書館の老朽化について。 回答：改築について強い意見を出しているが、現在のところ大きな改修をするところまで至っていない。議会としては、新築、増築について、意見を出していく。駅前の拠点施設にも図書館の一部を造る予定。</p> <p>質問：リニアの残土について平牧地区は、鉄分が多いので影響はあるか。 回答：リニアについては、ルート発表がされ、説明会が3回開かれた。まだ残土の搬出先は決まっていないということであった。市内のルートには、黄鉄鉱を含んだ美濃帯があり、これは水に触れると酸性化する恐れがある。議会としては、市民生活への影響がないよう長期的な取り組みが必</p>

要であり、組織、体制を整え、市民への情報提供に努めることを提言している。

質問：財政調整基金とは何か。

回答：年度間の財政調整のためや緊急に財源が必要な時のために積立をしている。

質問：坂戸でテニスコートや野球場が整備されているが建設に多額の予算がつかわれているが、野球場を造る必要があるか。

回答：野球場建設までには、長い期間かかっており、市民のスポーツ人口のなかで野球が多かった。花フェスタ記念公園充実のため野球場を取り壊しが、市民の方々は、納得されなかった。したがって、市内に野球場を造るという計画を推進してきた。用地が確保できたので建設の運びとなり合わせてテニスコートも整備してきた。10年以上経緯し、現在に至っている。10万都市として十分なスポーツ施設が整っている訳ではない。その後も総合体育館などの要望も出ているが、体育施設の整備計画の中で推進してきた。

予算の金額が適否かどうかについては、議会での予算審議において慎重に審議し規模、利用料など勘案しながら議会としては後押しをしてきた経緯がある。財政調整基金つまり積立金を一部取り崩して予算編成する場合がある。年度内で十分予算が賄えるという事であれば積立金を崩さないで緊急時のために残すこともある。その年々で臨機応変に対応してきている。

意見：野球場の運営方法をきちんと行って欲しい。

意見：野球場に関する回答が以前と違うので組織統一をして欲しい。立派な仏様を作るが魂を入れることを考えない。アーラはやっと魂が入ってきた。10万人都市としては、画期的なことだ。一般市民に分かり易いように会議をしたらどうか。

回答：野球場が今年完成るので、お披露目という事で検討している。決定ではないが中日球団に申し入れ、オープニングとしてウエスタンリーグの野球を行って頂ける。高校野球の県予選を高野連に検討して頂いている。今後とも皆さん方が造ってくれて可児市のPRに大いに役立つ、アーラに負けない様な皆さんが誇りを持って頂く、そして魂をいれて使用して頂ける施設にしていきたい。また、サッカーの非公式な試合もできるが、皆さんの意見も伺いながら進めていく。

意見：野球場を市民に幅広く使えるようにして頂きたい。

質疑：市民満足度調査で障害スポーツや芸術は重要ではないに入っているが、どのように優先順位をつけて執行部が決めているのか。10万人アンケートは1月末で締め切ったがどうなったか。

回答：市長が政策を行っていくために参考にするということで行った。議会も参考にするが、執行部も参考にする。

質疑：10万人アンケート調査結果を市民に発表しないのか。

回答：すでにホームページで発表されている。

意見：イノシシの捕獲檻を増やすことを要望する。

平成 25 年 11 月 22 日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 平牧公民館会場 班長 山田 喜弘

